RPF化及びリサイクル処理プロジェクト

基本目標４　魅力的で安心して暮らせるまちをつくる

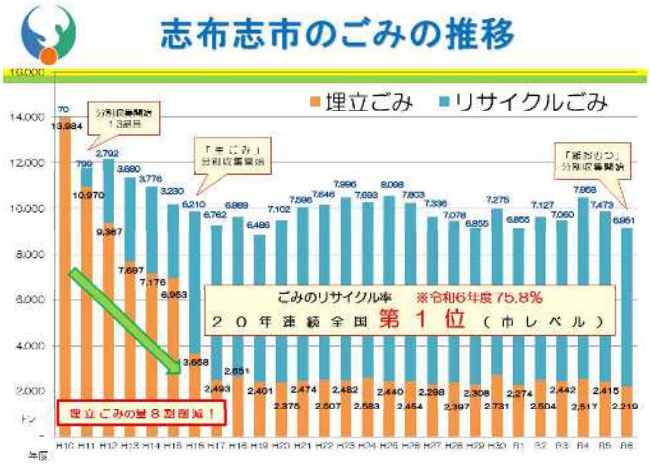
■事業の課題・目的

志布志市では、少子化と人口減少が進む中、20年連続で市レベルでのリサイクル率１位を誇り、市民一体となったごみ分別の取り組みを行っています。他市ではなかなかできない取り組みも、何十年と実施してきている志布志市だからこそ、新たなごみ分別にもチャレンジできます。

一方で高齢化が進み、分別したくても出来ない方が増えてくる中、分別を簡単にできる方法や地域活性と結び付けた分別やごみ出しの補助も行っています。

これからも更なるサービスの質向上や効率性を高め、地域内の人々がリサイクルや分別をすることで環境にやさしいまちを推進していきます。

■事業内容



・生ごみ・草木剪定枝堆肥化
・畳・木くず等RPF※化
・資源ごみ中間処理（紙おむつ等）

※RPFとは…主に産業系廃棄物のうち、リサイクルが困難な古紙や廃プラスチック類を主原料とした固形燃料のことです。

■なぜ寄附を募るのか

このRPF化やリサイクル処理業務は、焼却施設に頼らず、今ある埋立処分場をいかに永く使用し続けられるかを考え、環境美化を目的に平成10年から全市民で取り組んできました。

特に令和６年度から本格的に実施している紙おむつの水平リサイクルの取り組みは、まだまだ実証の段階ですが、持続可能なサーキュラーエコノミーを実現するために、地球規模で考えていく必要性があると考えています。

志布志市が世界に先駆けて環境にやさしいまちとして取り組んでいきたいのですが、先進的な取り組みであるがゆえにプロジェクトを進めるためには、費用負担が多く、皆様のご寄附による支援が不可欠です。



■メッセージ

志布志市では、「美しい地球を子どもたちに」残していくために、紙おむつも含め、ごみを焼却することなく、ごみを資源ととらえています。使っていらなくなった物は、きれいに洗って分別してごみ出しするようにし、袋には名前を書いて、出したごみに責任を持ちます。

【混ぜればごみ、分ければ資源】です。今ある資源を永く使うことが、SDGｓにある「持続可能な社会の実現」につながっていくと考えています。ぜひこのプロジェクトへのご支援をお願いします。